

話題がいっぱい!
なかゆくい



9/1(木) 平成28年度浦添市中学生海外短期留學生派遣事業帰国報告会

夏休み期間中の3週間、アメリカに海外短期留学した5人の市内中学生が帰国し、留学期間中の体験や学んだことを市長に報告しました。
中学生たちは「留学当初は、慣れないことが多く不安でしたが、会話や生活が楽しくなると多くの体験ができて本当に充実した短期留学だった」と満足した笑顔で話しました。
市長は「英語でより多くの国の人と交流し、いろいろなことに興味をもってほしい」とエールを送りました。



8/20(土) 学習の成果を発表!

てだこホール1階多目的ホールで、子ども向け環境学習講座がありました。当日は環境学習の最終段階で、子どもたちから大人までいままでの学習の成果を発表しました。
子どもたちはカーミーギーに住んでいる生物や身の回りのごみ問題などのことについて自分なりに研究し、なかには見学している大人をうならせるものもありました。大人の部では子どもたちにわかりやすく、言葉なども選びながら発表しており、子どもたちも興味津々な様子で聞いていました。



9/18(日) 2016リオデジャネイロパラリンピック・ウィルチェアラグビー 仲里進選手活躍

ウィルチェア(車いす)ラグビー日本代表として2016リオデジャネイロパラリンピックに出場した浦添市出身の仲里進選手。
大会前の市長表敬の時に「チーム一丸となって臨めば必ずと結果はついてくると思うので、これまでの経験を伝えながらいい雰囲気でも臨みます」とメダル獲得に向けた意気込みを語っていました。その強い意気込みもあり、18日に行われた強豪カナダとの銅メダルをかけた試合では、仲里選手も出場し活躍。一度もリードを許すことなく見事勝利し、悲願のメダルを獲得しました。



9/8(木) 特産桑のアイス「桑の実ソルベ」

9月8日(木)の「桑の日」にちなんで、市内小中学校の給食に、特産桑の実を利用して作られた「桑の実ソルベ」が配られました。
これは、児童生徒に地元の農産物や特産品へ関心をもってもらうために企画されたものです。児童生徒は、浦添の特産品や桑の実について学んだ後、おいしい給食と一緒に試食しました。金城琉夏さんは、「すっぱいけど、宇宙一おいしいです。」と満面の笑みで完食しました。



9/5(月) 少年少女の主張、会場に響く

9月5日(月)ハーモニーセンターで、第31回「沖縄県少年の主張・那覇地区大会」が開催されました。この大会で優秀賞以上に選ばれと9月23日(金)に豊見城中央公民館ホールで開催される「第38回沖縄県少年の主張大会」に出場できます。発表者として登壇したのは9人。それぞれが日頃感じていることを自分の言葉でしっかりとまとめ、はきはきとした口調で堂々と主張する姿に会場は魅了されました。



8/12(金) 魅力あるまちづくりに推進

浦添市と沖縄振興開発金融公庫(川上好久理事長)は「浦添市地域開発プロジェクト助言業務に関する協定」を締結しました。
これからのまちづくりの取り組みに、プロジェクトの構想段階から沖縄公庫に蓄積された豊富な金融ノウハウを最大限に活用することができます。
川上理事長は「多様な面で浦添市の地域開発のお手伝いができると考えています」と話しました。



8/22(月) 輝くてだこ市民賞(第32号) 浦城小学校女子ハンドボール部

7月末に行われた全国ハンドボール大会女子の部で、5年ぶりに全国優勝を果たした浦城小学校女子ハンドボール部員13人が、輝くてだこ市民賞第32号を受賞しました。
キャプテンの田里優生子(たさとゆきこ)さんは、「この全国制覇は、保護者や先生、沖縄で応援してくれた人たちのおかげです。そして次の九州大会でも2連覇を目指して頑張りたいです」と今後の抱負を力強く語りました。